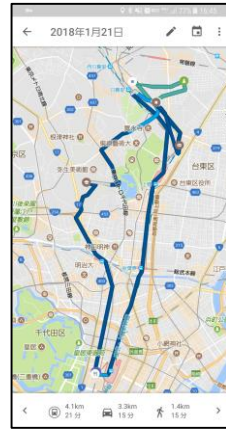


# 日々の行動についての研究にご協力おねがいします

**概要** 日々の活動は、その日の予定などのほか、体調や気分など、さまざまなものに影響を受けます。スマートフォンでは、こうした活動記録が記録され、管理できます。今回の研究では、こうしたスマートフォン機能を用いて、皆様の日常の活動がどういったことに影響を受けているか、また逆に、特定の活動が皆様の体調や気分にどのような影響を与えているかを調査することが目的です。ご協力のほどよろしくお願いいたします。



## 対象となる方

- ① 18歳以上
- ② 現在、以下の疾病で治療中の方
  - 気分障害: うつ病(大うつ病性障害)、躁うつ病(双極性障害) など
  - 不安障害: 全般性不安障害、パニック障害 など
  - 適応障害
  - 統合失調症
  - 発達障害: 広汎性発達障害(自閉症)、ADHD(注意欠如多動性障害) など
- ③ iPhone(5s以降、iOS8以上)をお持ちで、普段より使用されている方  
(iPad, iPod touch, iPhone 5cには対応していません)  
日常的に使用されていない方は対象外になります

## 方法

- ① 添付の研究説明をよく読み、ご同意ください
- ② レイ・フロンティア社のアプリ **Silent Log** を皆様のスマートフォンにインストールしていただきます  
(App storeにて、Silentlog で検索。右のロゴマークのものです)  
Silent Logと本研究の登録は、**同じメールアドレス**で登録してください  
アンケートフォームをWEBCAS社に依頼しております  
[webcas.com](http://webcas.com) よりメールが受信できるようにしておいてください
- ③ 引き続き、初回アンケート質問紙にご回答ください(15分程度)
- ④ 1年間、アプリをインストールしておいてください。スマートフォンの操作は不要です
- ⑤ 1か月に1回程度、簡単なアンケート(1回2分、12か月間)がメールで届きますのでご回答ください
- ⑥ 6か月後、1年後、2年後に、研究参加者と主治医にアンケート質問紙を依頼します(裏面1)
- ⑦ アプリからデータを受信した期間やアンケート回答の回数によって、薄謝(Quoカード)を進呈します(裏面2)

## 注意点

- 日常の活動記録はプライバシーの問題がありますので、**だれがどこに行ったかなどはわからないようにして保管・解析されます**(裏面3)
- Silent Logアプリの機能はご自由にお使いいただけます

## 研究URL

<http://plaza.umin.ac.jp/~UTIDAHM/lab-post/gps-clin-start>



## お問合せ先

東京大学大学院総合文化研究科 小池進介

Tel: 03-5454-4327

Mail: [gpstodai@gmail.com](mailto:gpstodai@gmail.com) もしくは [skoike-adm@umin.ac.jp](mailto:skoike-adm@umin.ac.jp)

# 1. 本研究でお答えいただくアンケート・主治医調査について

研究参加者が回答するWebアンケート： 自覚的うつ症状など15問(2分)程度

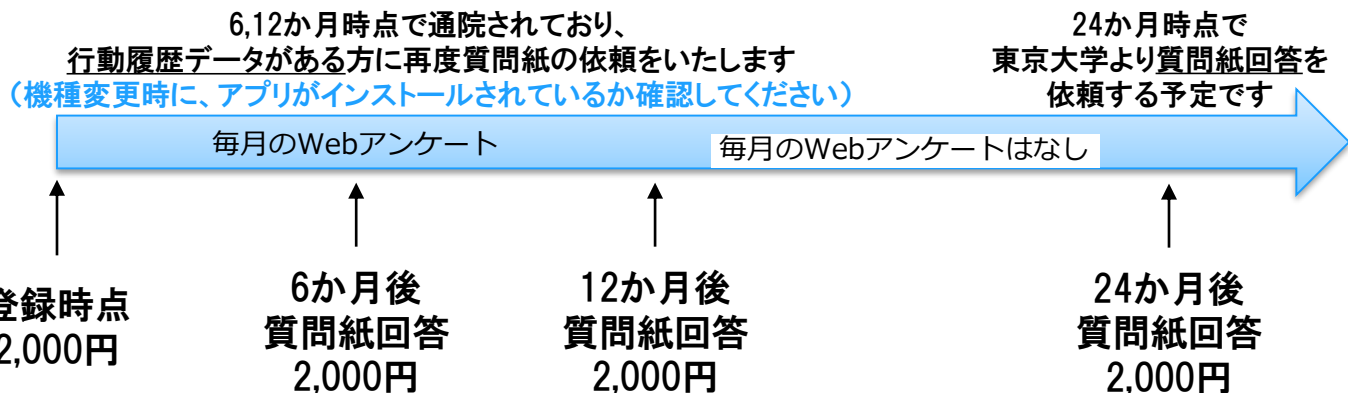
研究参加者が回答する質問紙(登録時, 6, 12か月後):

少し詳しい自覚的症狀, 日常的生活状況(食事, 就労・就学)など125問(15分)程度

主治医が回答する調査内容: 機能の全体的評定(GAF), 抑うつ評価, 入院歴, 服薬量, 通院回数など

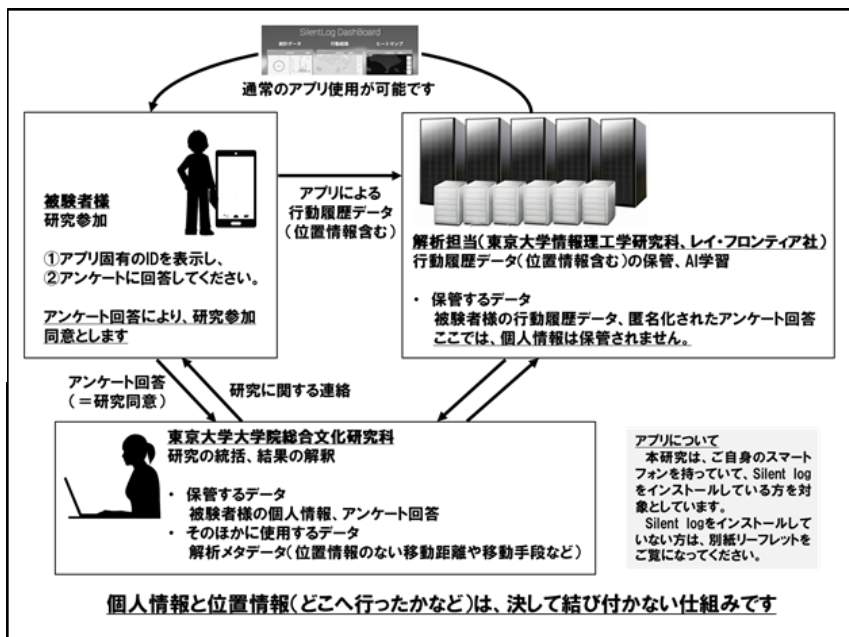
## 2. 謝礼

この研究に参加していただいた場合, 2,000~8,000円のQuoカードをお渡しします



## 3. 個人情報保護の方法

この研究では, 位置情報を含む行動履歴データが自動的に収集されるため, プライバシーの保護が重要になります。そのため, 位置情報(例えば, どこに行ったかなど)と, 個人情報を明確に分けて, だれがどこに行ったかなどはわからないようにして保管・解析されます。



## 4. 疑問点・お問い合わせ

本研究はまったく新しいタイプの研究ですので, 皆様からのご意見, ご質問を受け付け, 今後の研究に活かしたいと考えています。もし何かありましたら, お問い合わせ先にご連絡いただけますと幸いです。

ご協力のほど, どうぞよろしくお願いいたします。

## 5. 本研究に関する研究倫理・研究費

本研究は東京大学倫理委員会の審査を経て, 承認された方法に則り実施しています(「GPS行動特徴を用いた精神疾患の鑑別診断・症状・社会復帰の予測」(承認番号:18-208))。本研究は, 文部科学省科学研究費補助金, 東京大学運営費交付金を用いて実施します。